

もも・ネクタリン特報

No. ③

2023. 4. 17

J A 中野市営農センター
J A 中野市りんご・もも部会

落花後の防除（目安：4月下旬）については、特報No.②をご確認ください。

【生育状況】 白鳳（平岡調査地点）

開花は4/6頃で、平年に比べて10日生育が進んでいる状況です。（開花（参考）：平年4/16 昨年4/18）

年度	平年	R1	R2	R3	R4	R5
満開	4/22	4/24	4/22	4/13	4/23	4/12頃
落花	4/30	5/3	5/1	4/24	4/30	4/20頃

第4回 定期散布

ももとネクタリンの混植園では、ネクタリン防除を実施する。

もも

アグレプト水和剤等は「ぶどう」に種なし果を生じるため、飛散しないよう散布する

散布時期	落花10日後（第3回定期散布から10日後） ・散布日の目安：5月1日～5日頃	散布日 4・5月 日
散布薬剤	水 100ℓ当り 展着剤（アビオンE） 50ml ⑧モスピラン顆粒水溶剤 25g（収穫前日まで、3回以内） ストロビードライフフロアブル 50g（収穫前日まで、3回以内） アグレプト水和剤 100g（ <u>収穫60日前まで</u> 、2回以内）	散布量 ℓ
散布量	10アール当り 400ℓ	
対象病害虫	せん孔細菌病、黒星病、灰星病、うどんこ病、アブラムシ類、モモハモグリガ、シンクイムシ類、カメムシ類	

【注意事項】

- ① モスピラン顆粒水溶剤は「劇物」です。ご購入の際は「印鑑」をご持参下さい。
- ② 極早生種（たまき・赤宝等）は、アグレプト水和剤等の収穫前規制『収穫60日前まで』に注意する。
⇒ 対策・・・アグレプト水和剤等に代えてマイコシールドの1,500倍（21日前、5回）を使用する。
- ③ アグレプト水和剤に代えて、ストマイ液剤20の1,000倍またはアグリマイシン100の1,500倍を使用しても良い。
- ④ アグレプト水和剤（液剤）、ストマイ液剤20、アグリマイシン100等の使用回数は、合計で2回までとする。

もも

第5回 定期散布

ももとネクタリンの混植園では、ネクタリン防除を実施する。

散布時期	5月中旬（第4回定期散布から10日後） ・散布日の目安：5月10日～15日頃	散布日 5月 日
散布薬剤	水 100ℓ当り 展着剤（アビオンE） 50ml トレノックスフロアブル 200ml（収穫7日前まで、5回以内） ⑧ハチハチフロアブル 50ml（収穫前日まで、2回以内） マイコシールド 66g（ <u>収穫21日前まで</u> 、5回以内）	散布量 ℓ
散布量	10アール当り 500ℓ	
対象病害虫	せん孔細菌病、黒星病、灰星病、うどんこ病、モモハモグリガ、アブラムシ類	

【注意事項】

【シンクイムシ類対策】 ハチハチFに代えて⑧イカズチWDGの1,500倍（収穫前日まで、5回以内）を使用する。

【カイガラムシ類 対策】 コルト顆粒水和剤の2,000倍（収穫前日まで、3回以内）を加用する。

ハチハチフロアブルは、「劇物」です。ご購入の際は印鑑をご持参ください。

【代替】5月中旬散布：マイコシールドに代えて、クプロシールドの1,000倍（-、-）でもよい。ただし、葉に薬害を生じる恐れがあるため、クレフノンの100倍を加用し、展着剤はハイテンパワーの10,000を使用する。

ネクタリン

第4回 定期散布

散布時期	落花10日後（第3回定期散布から10日後） ・散布日の目安：5月1日～5日	散布日 4・5月 日
散布薬剤	水 100㍓当り 展着剤（アビオンE） 50ml ⑧モスピラン顆粒水溶剤 25g（収穫3日前まで、3回以内） トレノックスフロアブル 200ml（収穫30日前まで、5回以内） マイコシールド 66g（収穫28日前まで、5回以内）	散布量 ㍓
散布量	10アール当り 400㍓	
対象病害虫	せん孔細菌病、黒星病、灰星病 アブラムシ類、モモハモグリガ、シンクイムシ類、カメムシ類	

【注意事項】

- ① モスピラン顆粒水溶剤は「劇物」です。ご購入の際は「印鑑」をご持参下さい。
- ② 【代替】トレノックスフロアブルに代えて、ストロビードライフフロアブルの2,000倍（前日、3回）でもよい。
- ③ アグレプト水和剤、アグリマイシン100、ストマイ液剤20等は、ネクタリンに登録がないため使用できません。

ネクタリン

第5回 定期散布

散布時期	5月中旬（第4回定期散布から10日後） ・散布日の目安：5月10日～15日	散布日 5月 日
散布薬剤	水 100㍓当り 展着剤（アビオンE） 50ml トレノックスフロアブル 200ml（ <u>収穫30日前まで、5回以内</u> ） ⑧ハチハチフロアブル 50ml（ <u>収穫前日まで、2回以内</u> ） マイコシールド 66g（ <u>収穫28日前まで、5回以内</u> ）	散布量 ㍓
散布量	10アール当り 500㍓	
対象病害虫	せん孔細菌病、黒星病、灰星病、シンクイムシ類、モモハモグリガ、アブラムシ類	

【注意事項】

- ① 【代替】5月中旬散布：マイコシールドに代えて、クプロシールドの1,000倍（-、-）でもよい。ただし、葉薬害を生じる恐れがあるため、クレフノンの100倍を加用し、展着剤はハイテンパワーの10,000を使用する。
- ② 【シンクイムシ類（カメムシ類）対策】
ハチハチFに代えて⑧イカズチWDGの1,500倍（前日、2回）を使用する。
- ③ 【カイガラムシ類 対策】
コルト顆粒水和剤の2,000倍（収穫前日まで、3回以内）を加用する。
- ④ ハチハチフロアブルは、「劇物」です。ご購入の際は印鑑をご持参ください。

●摘花 凍霜害による結実不良の心配がない園地のみ、摘花を実施し着果制限する。

●せん孔細菌病 春型枝病斑の除去

せん孔細菌病の発生を確認した園地は、5月末まで枝病斑の除去を必ず実施する。

●予備摘果

- ・横向き、下向きの果実を残す。
- ・上向き、骨格枝先端、結果枝基部の果実を摘む

【注意】凍霜害により結実不良の場合は、着果位置に関係なく

樹全体で着果量を確保する。

結果枝	残す果実数
長果枝（30cm以上）	3個
中果枝（10cm～30cm）	2個
短果枝（10cm未満）	1個

（果樹指導指針より）

もも 結果枝別着果量の目安